

公務員を目指す君へ。

四国大学が合格を徹底サポートします。

将来の夢は、公務員に決めた。

四国大学経営情報学部

経営情報学科

地域創生人材育成

奨学金制度



人が集まる「人」をつくる、大学。



充実した教育プログラムと奨学金制度により



経営情報学科で 公務員^(大卒程度)を目指す学生を 合格に向けて サポートします!!

四国大学経営情報学部経営情報学科の入学生のうち、学業・人物ともに優秀で、公務員として地域創生に寄与したいという強い意志を持つ者に奨学生として経済的支援を行い、地域の再生・活性化に資する有為な人材の育成を図ることを目的とした制度です。

地域創生人材育成奨学金制度

年間40万円を 給付します

地域創生人材育成奨学金制度 (CCP) の奨学生に採用されると、年額40万円の奨学金が給付されます。各学年終了時に行う適格審査を経て最大で4年間継続受給できます。

- ※1. 本制度は「高等教育の就学支援新制度」対象者にも適用されます。
- ※2. 四国大学教育特別奨学生選考試験を受験することはできませんが、奨学金の併給はできません。

サポート1 実践的な授業

職場や地域社会の中で社会人として必要な課題を自主的に見つけ、分析し、具体的な解決策を出すための力を養うことを目標とした授業を実践します。

サポート2 きめ細かな指導

学生一人ひとりと向き合い、学習指導だけでなく、進路選択や就職活動まで、学生生活全般にわたって丁寧に指導します。

サポート3 特別授業プログラムの提供

公務員試験対策に直結した授業などを組み込んだプログラムを実践することにより、入学直後から合格までサポートします。

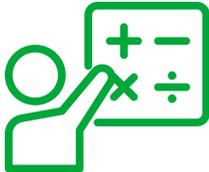
令和7年度 募集要項

募集人数	10名程度
奨学金受給資格	「経営情報学科キャリア養成プログラムCCP(公務員)※」を受講することが条件です。
選考方法	希望者は、本学入学後(4月)に実施する「奨学生候補者選考試験」による選考を経て、奨学生として採用されます。なお、奨学生候補者選考試験は、教養検査及び面接により実施します。

地域創生人材育成奨学生選考試験に向けてどんな勉強をすればいいの？

数的推理

「数的推理」の出題範囲
(高卒程度)



- 割合
比・濃度算・仕事算・
増減・売買算
- 速さ
速さ・流水算・
通過算・旅人算
- 確率

●科目説明・勉強方法

「数的推理」というのは、中学校レベルまでの数学や算数のような問題です。出題されるテーマは方程式、整数、割合(売買算・濃度算・平均算・仕事算)、速さ(旅人算・通過算・流水算)、確率、図形の計量(平面・立体)など様々ありますが、知識などはほとんど必要なく、皆さんがこれまでに学んできたものが大半です。忘れていたり、慣れていなかったりするものもあると思いますが、たいていの問題は解くことができます。ただし、本試験では他の科目も多く出題されるので、じっくり解く時間がありません。つまり、この科目の勉強は、知識を得るというよりは、早く解くための練習・訓練をすることになります。CCP選考試験の対策として、手持ちの公務員試験過去問題集で出題範囲について解く練習をしておいてください。分からない問題についてはすぐに解説を読み、解き方を覚える。そして類題に挑戦をする。この繰り返しで必ず解けるようになりますし、パターンが掴めます。

【例題】

A、B、Cの3人の年齢について次のことが分かっている。
このとき、Aの年齢がCの年齢の2倍になるのは何年後か。 x 年後とする。
・3人の年齢を合計すると80歳である。
・BはCより3歳年上である。
・3年後にAの年齢はBの年齢の2倍になる。

解答：9年後

《解説》

$$\begin{cases} A: a \text{ 歳} \\ B: b \text{ 歳} \\ C: c \text{ 歳} \end{cases} \text{ とする}$$

$$\begin{aligned} \textcircled{1} \quad a + b + c &= 80 \\ \textcircled{2} \quad b &= c + 3 \longrightarrow c = b - 3 \quad \textcircled{1} \text{に代入} \\ \textcircled{3} \quad a + 3 &= 2(b + 3) \longrightarrow a + 3 = 2b + 6 \\ &\qquad\qquad\qquad a = 2b + 3 \quad \textcircled{1} \text{に代入} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 2b + 3 + b + b - 3 &= 80 \\ 4b &= 80 \\ b &= 20 \end{aligned} \begin{cases} a = 43 \\ c = 17 \end{cases}$$

$$\begin{aligned} 43 + x &= 2(17 + x) \\ 43 + x &= 34 + 2x \\ \underline{9 \text{ 年後} = x} \end{aligned}$$

国語

「国語」の出題範囲
(高卒程度)



- 文章理解(現代文)
- 漢字(読み、同音異義語)
- 類義語・対義語
- 四字熟語
- ことわざ・故事成語・慣用句

●勉強方法

文章理解については出題形式として内容合致、要旨把握、下線部把握、空欄補充、文章整序等があります。対策としては過去問を解くことが最も効果的ですが、新聞のコラムなどの文章を読んで要旨を100字程度に要約する訓練は読解力がつくとともに漢字や慣用句等に対する力もついて有効です。

【例題1】

次の漢字の読みをひらがなで記せ。

- 1 行脚 2 赴任 3 胸襟 4 罷免 5 鼓舞
6 遵守 7 乃至 8 邂逅 9 煩惱 10 炬燵

【例題2】

次の1～5の□には、「色」の種類(名称)を表す漢字が入る。それぞれに適切な漢字を答えよ。

- 1 山□水明 2 □息吐息 3 清廉潔□ 4 朝有□顔 5 □科玉条

解答：【1】

- 1 あんぎゃ
- 2 ふにん
- 3 きょうきん
- 4 ひめん
- 5 こぶ
- 6 じゅんしゅ
- 7 ないし
- 8 かいこう
- 9 ぼんのう
- 10 こたつ

【2】

- 1 紫
- 2 青
- 3 白
- 4 紅
- 5 金



プログラムの 全体像

(CCP学年別主要受講科目一覧)

1年次から4年次までの流れ



カテゴリー	1年次	2年次	3年次	4年次
全学 共通科目	初年次ゼミ AI・データサイエンス入門 キャリア形成入門 地域未来探究 英語I			
専門科目	経営学総論I・II 簿記論I・II 商学総論 流通論 マクロ経済学 パソコン基礎演習 フレッシュヤーズゼミI・II 租税法	経営管理論 経営組織論 金融論 ミクロ経済学 財政学 行政学 憲法 民法 行政法 演習I・II	地方自治論 地域経営論 地域産業論 経済政策論 政治学 情報社会論 会社法 演習III・IV	地域協働論 地域創生論 地方財政論 卒業研究I・II
CCP 講座科目	一般教養 人文 一般教養 社会 政治学	一般教養 判断推理 数的推理 社会科学 人文科学 憲法 民法	教養問題演習 専門問題演習 経済学 憲法 民法 行政法 行政系	自主学習 面接指導

- 入学直後から公務員試験対策を開始します。●長期休暇中も講座を開講します。●公務員試験対策学習室での自習をサポートします。
- 空き時間にインターネットによる自主学習ツールを活用し、基礎学力のレベルアップを図ります。●録画による動画選考に技術面のサポートを行います。
- 筆記試験の合格者に対する面接指導も行います。

卒業生の声



澤口璃月さん

(令和6年度 石井町役場採用)

CCPの授業では一般教養から専門まで数多くの科目を勉強してきました。初めて公務員試験の勉強をする人にわかりやすいように、基礎から丁寧に教えてくださったので、最後まで諦めずに勉強し続けることができました。皆さんも最後まで諦めずにこのCCPで頑張って夢を掴んでください。



河野成紀さん

(令和6年度 吉野川市役所採用)

経営情報学科では、公務員になるために必要な幅広い知識を得ることができました。採用試験にあたり、先生方からの手厚いサポートをはじめ、CCPのメンバーと切磋琢磨したおかげで自信を持って臨むことができました。今は目標が叶い、充実した日々を送っています。後輩の皆さんがCCPを活用し、夢を掴み取る事を願っています。